

ふれあい学びあい

③

ことばの教室

最近、ことばをはっきり話せない児童が増えています。町でも今年小学校に入った児童の約13%に異常が見受けられました。

主な発音の異常

- 1 「い」、「き」、「し」、「ち」、「つ」、「り」、「じ音」のひずみが生じます。従って、口を曲げて発音するため「リソゴ」が「ギソゴ」と聞こえたりはつきりしません。
- 2 「つ音」の発音が「チュ」となります。
- 3 「ざ行」が「ジャ行」や「ダ行」になります。

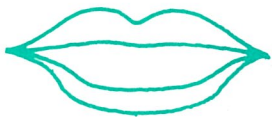
これらの他にことばの発達の遅れにより、語ることばが少なく会話の続かない子供も見受けられます。ことばの異常の原因は、は

っきりしていませんが、生活の変化によって固い物からスナック菓子等の軟い物を好んで食べているため、昔よりアゴの発達が遅れているのではないかと言われています。

ことばの異常をそのままにしておくとう関係が悪くなったり、授業に積極的に参加しなくなったりして引込み思案の子供になってしまいます。

訓練で正しい発声を

ことばの異常は、訓練をしていくと早くて3ヶ月くらいで正しい発声になります。町では、東陽小学校にことばの教室「2クラス」を設置しています。教室では、正しい発声方法



のたいそう

<p>① ぱ〜ん (10回いじょう)</p>	<p>② あ〜ん (10回いじょう)</p>
<p>③ ひよつとこ (10回いじょう) (できるだけ口をとがらせて、つきだす)</p>	<p>④ あかんべ〜 (できるだけしたをながくたらす) (10回いじょう)</p>
<p>⑤ わ上くちびるなめ (はなの下までしたをのばします)</p>	<p>⑥ 下くちびるなめ (あごの方をなめるつもりで)</p>
<p>⑦ □のかど打ち (したで□のかどをかわりばんにうちます)</p>	<p>⑧ □のなめまわし (舌でくちびるのまわりをぐるぐるなめまわします)</p>
<p>⑨ 舌まるめ (ポッキーやかりんとうを舌でつまみこむ)</p>	<p>⑩ 「ぱ・た・か」 「ぱ・た・か」をくり返し言います ①ゆっくり ②だんだん早く</p>
<p>⑪ ストローふき 水をストローでふきます (強く、みじかくよわく、ながく)</p>	<p>⑫ うがい ① □の中に水をためブクブク・ブクブク…… ② のどのおくの水をため上をむいて、ガラガラ……</p>

と聞きとりを主に普段の授業とは別に、週1・2時間の特別指導を行っています。ことばの異常をなおすために家庭で行える方法を東陽小学校の平山先生は次のように話しています。

① 固い物を食べるように心掛けましょう。
② シヤボン玉・ラッパ・フウセンなどの口を使う遊びをしましょう。

③ 子供の話をよく聞き、よく話をさせましょう。
④ 親が正しい発音で話をして聞かせましょう。
⑤ 口の体操(左表)で口を動かす練習をしましょう。
普段、子供との会話のなかで、ことばの使いや発音で気になることがあったら、気軽に担任の先生へ相談しましょう。



恵まれた環境の「ことばの教室」